

RACING PROGRAM

中山競馬場・京都競馬場・中京競馬場

レーシングプログラム

出走馬一覧表

2024.12.8

阪神ジュベナイルフィリーズ[G1]

カペラストークス[GIII]



未来へ、走り続ける。



阪神ジュベナイルフィリーズ プエナビスタ

JRA 70th Anniversary メモリアルヒーロー

HERO IS COMING.

海外競馬発売

- 香港ヴァーズ[G1]
- 香港スプリント[G1]
- 香港マイル[G1]
- 香港カップ[G1]



第76回阪神ジュベナイルフィリーズ(GI)

農林水産省賞典

発走15時40分

1600m(芝・右・外)Cコース使用

このカラー版出馬表の内容は12月6日12時00分現在のものです。その後に出走取消、騎手変更等が生じる場合がありますのでご注意ください。

Main race table with columns for race number, horse number, name, jockey, and performance history.

※ブレレーティングは、原則としてGI・JpnI競走は6着まで、その他の重賞・オープン競走は4着までのレーティング値が対象となります。

ブエナビスタ

21,039票



2008年 阪神ジュベナイルフィリーズ(JpnI)

常に全力で走り続けた根性娘

デビュー戦は3着。1着アンライバルドが皐月賞を勝ち、2着リーチザクラウンが日本ダービーで2着、4着スリーロールスが菊花賞を制して「伝説の新馬戦」と呼ばれるようになるのは、もう少し先のことだ。黄菊賞勝ちのジェルミナル、赤松賞のダノンベルベール、ファンタジーSの1、2着馬イナズマアマリリスとワンカラットなど実績馬が揃う中、未勝利戦を勝ったばかりの1勝馬で、抽選を潜り抜けてこの阪神ジュベナイルフィリーズへの出走がなかったブエナビスタを、ファンは確かな期待とともに1番人気に支持した。

そしてブエナビスタは、その期待に応えてみせた。道中は後方から3、4番手を追走。しかし直線を向くと1頭だけ次元の違う末脚で、懸命に競り合う各馬を外から次々と交わしていく。全馬を抜き去り、さらに2馬身半突き抜けたところがゴール。圧巻の勝利は、1995年にこのレースを勝っているピワハイジとの母娘制覇の瞬間でもあった。

その後もブエナビスタは、ファンの思いに応え続けた。3歳時は桜花賞とオークス、4歳時はヴィクトリアマイルと天皇賞(秋)、5歳時にはジャパンカップを制し、GI通算6勝。一方で2着も多く、JRAのGIにおける12連対は歴代最多記録である。7戦すべて連対した4歳時の2010年にはJRA賞年度代表馬を受賞している。それ以外にも2歳、3歳、そして古馬として2回最優秀牝馬を受賞。4年連続のJRA賞受賞は史上3頭目だった。

勝っても負けてもその走りは常に全力で、そんなブエナビスタをファンは信用し、愛した。JRAでの出走レース21戦のうち、2番人気だった最後の2戦を除けば19戦連続で1番人気。今なお破られていない史上最多記録が、そのことをよく物語っている。そんなブエナビスタの出发点となったレースこそが、阪神ジュベナイルフィリーズだ。

第60回 阪神ジュベナイルフィリーズ(JpnI)

2008年12月14日 阪神競馬場 1600m(芝・右・外) 晴・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	ブエナビスタ	牝2	54	安藤 勝己	松田 博資	1:35.2	①	16/16
2	ダノンベルベール	牝2	54	後藤 浩輝	国枝 栄	2 1/2	③	11/6
3	ミクروسモス	牝2	54	鮫島 良太	角居 勝彦	1 1/4	④	17/17
4	ショウナンカッサイ	牝2	54	幸 英明	北出 成人	1 1/4	⑩	2/3
5	イナズマアマリリス	牝2	54	吉田 豊	松元 茂樹	1 1/2	⑧	11/13

ブエナビスタ Buena Vista

2006年3月14日生 牝 黒鹿毛

父:スペシャルウィーク 母:ピワハイジ 母の父:Caerleon
生産:早来・ノーザンファーム 馬主:有限会社 サンデーレーシング
通算成績:23戦9勝(うち海外2戦0勝)

主な勝ち鞍

2011年 ジャパンカップ(GI)
2010年 天皇賞(秋)(GI)、ヴィクトリアマイル(GI)、
京都記念(GII)
2009年 オークス(JpnI)、桜花賞(JpnI)、チューリップ賞(JpnIII)
2008年 阪神ジュベナイルフィリーズ(JpnI)



2011年ジャパンカップ(GI)

メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。
2位:ブエナビスタ(21,039票)

1位 ラッキーライラック **27,067票**



2017年の優勝馬。三冠馬オルフェーヴルの初年度産駒である本馬は、デビューから無傷の3連勝で2歳女王となった。同馬はその後、エリザベス女王杯などGIを3勝。

3位 ウオッカ **21,034票**



2006年の優勝馬で、ダービー馬タニノギムレットの初年度産駒。デビュー3戦目でのGI制覇となった。同馬は翌年、牝馬として64年ぶりとなるダービー制覇を果たす。

4位 ヒシアマゾン **16,242票**



1993年に当時は阪神3歳牝馬Sの名で行われていた本競走の優勝馬。デビュー4戦目でGI制覇を成し遂げると、翌年はクイーンCから重賞6連勝を記録した。

5位 ダノンファンタジー **11,181票**



父に三冠馬ディープインパクト、母はアルゼンチンG1馬という血統背景を持つダノンファンタジーは、デビュー4戦目となった2018年の本競走を制した。同馬はその後GI4勝。



同一の競走馬が複数のレースで1位となった場合、その競走馬は最も多く票を獲得したレースの「メモリアルヒーロー」といたします。その他のレースにつきましては、2位以下となった競走馬から得票数の多い順に繰り上げとなります。(同一の競走馬が複数レースの「メモリアルヒーロー」となることはありません。)



特設サイト